

【続・工夫して勉強する】

1. 不合格の原因を取り除く

「工夫して勉強すること」の目的は、**不合格の原因を取り除くための方法を考えること**です。例えば、仕事が忙しくて勉強する時間が十分に確保できなかったことが不合格の原因ならば、**工夫して勉強の時間を作り出すようなこと**です。**不合格の原因を明確にすることで、不合格の原因を取り除く方法として「工夫して勉強する方法」を考えることができます。**

2025年10月30日に、『学んだことをノートに工夫して書く』という受験勉強方法^{注1)}というテーマのダウンロード資料を掲載しました。このような勉強方法を考えたのも、**仕事が忙しく受験勉強の時間が十分に確保できなかったから**です。**最大の勉強の成果を短時間で得る必要があったので**このような勉強方法を考えました。

注1):「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の『学んだことをノートに工夫して書く』という受験勉強方法の資料を参照のこと

2. 原因を取り除くための方法が「工夫して勉強する方法」

不合格にはその原因が必ずあります。『原因』と『結果』の法則です。つまり、**不合格の原因を分析することでその原因を取り除くための方法**、つまり、「**工夫して勉強する**」という考え方が出てきます。

例えば、以下のように考えます。

- ◆「仕事が忙しく勉強の時間が十分に確保できなかったこと」が原因ならば、「忙しい中でどのように勉強時間を確保するのか」や「最大の勉強の成果を短時間で得るためにはどうしたらよいか」を考えます。
- ◆「不得意な分野の問題が出題されたこと」が原因ならば、「不得意な分野を可能な限り無くすにはどうしたらよいか」を考えます。
- ◆「解答が頭の中にあったがそれを時間内で書くことができなかったこと」が原因ならば、「頭の中にある解答を短時間で整理しそれを文や文章にして時間内で書くためにはどうしたらよいか」を考えます

「工夫して勉強する方法」はその受験生の独自の方法です。他人が考えた方法をそのまま使ってもそれは「工夫して勉強する方法」ではありません^{注2)}。例えば、「不合格の原因は、仕事が忙しく勉強の時間が十分に確保できなかったこと」と一口に言っても「十分に確保できない」という程度が各受験生で異なるから、つまり、仕事の内容や日々の生活環境などが異なるからです。

注 2) : 「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「工夫して勉強する」の資料を参照のこと

3. 不合格の原因を分析する

不合格の原因を分析することで成果が出る「工夫して勉強する方法」を考えることができます。分析の結果から明確になった**不合格の原因**をノートに書き出すと「工夫して勉強する方法」が考え易くなります。

- ◆平日の残業時間が長く、また、休日に出勤することが多いため自宅で勉強する時間が十分に確保できなかった。
- ◆勉強する範囲（勉強する内容）が多いため受験勉強期間の中で手が付けられなかった分野があった。
- ◆必須科目は時間内で解答を書くことができたが選択科目Ⅲは時間内で書くことができなかった。

例えば、このように書き出したら、これらの不合格の原因を取り除くための方法、つまり、**工夫して勉強する方法**を考えます。

不合格の原因を詳細に分析しそれをノートに書き出すことで勉強の成果が出る「工夫して勉強する方法」を考えることができます。

以 上